

防災行政無線
テレフォンサービス

放送内容を聞き逃したときなどは…
すぐ みなひなん
0120・49・3717

この番号に電話をかけることで、
放送内容を確認することができます。
※藍メールやYahoo! 防災速報、
町ホームページでも確認できます。

町公式LINE・メールでも
情報配信中!

登録はこちら

LINE

メール配信

藍住町WEB版
ハザードマップ

いつでもどこでも、災害リスクや避難場所を確認

<https://www.town.aizumi.lg.jp/hazardmap/>



藍住町公式
LINE



登録用アドレス
t-aizumi@sg-p.jp

防災あいずみ

令和7年7月15日発行 第49号

発行元：藍住町総務課危機管理室

電話637-3111

非常用持ち出し袋を準備しよう！

大規模災害が発生した直後は救助や支援が届くまでに時間がかかるため、しばらくは自分自身で食料や物資の確保が必要となります。災害発生時等の時間的猶予のないとき、必要なものをすぐに持ち出せるよう非常用持ち出し袋を準備しておくことは非常に重要です。



そこで、町ではご家庭で災害に備えていただくため、町民の皆さんを対象に防災用品(非常用持ち出し袋)の購入支援を行います。3,000円相当の防災用品が1,500円で購入できますので、ぜひご検討ください。

●対象者 次の全てに該当する方

- (1) 藍住町内に住所を有する方
- (2) 町税等に滞納がない方
- (3) 過去に町が実施した同様の事業を活用したことがない方

●申込期間 7月15日(火)～8月8日(金)

※窓口での申込みの場合は午前8時30分～午後5時(土日・祝日は除く)

●申込方法 (1) 窓口・郵送による申込み

「非常用持ち出し袋購入申込書」に必要事項を記入し、総務課窓口(役場3階)へ提出してください。

※申込書はこのページ裏面又は町ホームページからダウンロードしてください。

※郵送の場合は当日消印有効。

(2) オンラインでの申込み

藍住町電子申請サービスにてお申し込みください。

二次元コードまたは URLからアクセス



https://apply.e-tumo.jp/town-aizumi-u/offer/offerList_detail?tempSeq=14551

●販売期間 9月1日(月)～9月30日(火) 午前8時30分～午後5時(土日・祝日は除く)

※予定のため、変更する場合があります。

●販売金額 1個につき1,500円

※購入時に購入引換券とあわせて総務課窓口(役場3階)へお持ちください。

※申込時には必要ありません。

●留意事項 次の事項を承知の上、お申し込みください。

- (1) 購入は1人1個に限ります。
- (2) 転売を目的とした購入はできません。
- (3) 過去に町が実施した同様の事業を活用したことがある方は今回購入できません。
- (4) 申込者が多数の場合は、抽選となるため、購入できない場合があります。
- (5) 購入引換券については、8月下旬頃に購入対象者へ送付します。



非常用持ち出し袋購入申込書

令和 年 月 日

藍住町長 高橋 英夫 殿

申込者 住 所 〒

ふりがな
氏 名

連絡先

上記以外の方で同一世帯の申込者

ふりがな
氏 名

ふりがな
氏 名

ふりがな
氏 名

私は、次の事項を承諾の上、非常用持ち出し袋の購入を申し込みます。
また、この申込みに当たり、町長が申込者(同一世帯の申込者を含む。)の住所、世帯構成、町税等(町税及び国民健康保険税)の滞納状況などを確認することに同意します。

- (1) 購入は1人1個に限る。
- (2) 転売を目的とした購入ができないこと。
- (3) 藍住町内に住所を有し、町税等(町税、国民健康保険税)の滞納がないこと。
- (4) 過去に町が実施した同様の事業を活用したことがないこと。
- (5) 申込者が多数の場合は、抽選となるため、購入できない場合があること。



もしもに備えた、動く拠点



株式会社カンバーランド・ジャパン及び株式会社KAZオートワークス、藍住町の3者による「災害時におけるトレーラーハウス提供等に関する協定」を締結しました。この協定により、災害時にトレーラーハウスや自己処理型水洗トイレ(※)等の優先的な確保が可能になり、迅速な住環境の整備等を行うことができますようになります。

今後も、様々な分野で幅広い機関との連携を強化し、大規模災害に備えていきたいと考えています。

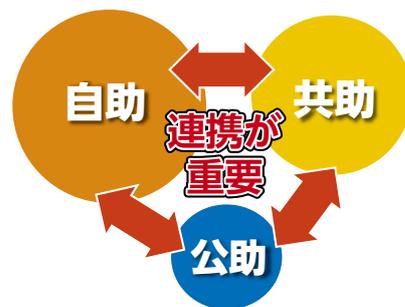
※自己処理型水洗トイレとは、電気や上下水道が不要で、どこでも設置・移動が可能な水洗式トイレのこと

自主防災組織について考えてみませんか？

大規模災害時における「公助」(国や自治体、自衛隊、警察、消防等の公的機関による支援)の機能には限界があります。特に被災直後は、自分たちの命は自分たちで守る「自助」と自分たちの地域は自分たちで守る「共助」が中心となります。

現在、町内では82の組織が結成されていますが、活動を休止している組織も少なくありません。今一度、地域で話し合って自主防災組織の活動を活性化させましょう。

町では自主防災組織が実施する資器材の購入や防災訓練などに対して、補助金を交付しています。補助金等の詳細については総務課危機管理室までお問い合わせください。



クーリングシェルター協力施設を募集します！

近年、気候変動の影響により過去に例のない危険な暑さとなる恐れが高まっており、熱中症による健康被害が深刻な問題となっています。

町では、熱中症から身を守るための一時的な休息場所として、クーリングシェルター(指定暑熱避難施設)にご協力いただける町内の民間施設等を募集しています。誰もが気軽に立ち寄って、涼しい場所で休息できる環境づくりにご協力ください。



募集開始日	令和7年7月1日(火)から電子メール、ファクシミリで随時受付 ※窓口申請の場合は、開庁時のみ受付可能です。
対象となる施設	町内の施設、店舗などで、「藍住町の民間施設等に係るクーリングシェルター指定要領」の指定要件に適合する施設。
運用期間	国の熱中症警戒情報の運用期間と同一期間(令和7年度は、4月23日から10月22日までの間)
申請・お問合せ先	藍住町役場 総務課 TEL: 088-637-3111 ファクシミリ: 088-637-3154 電子メール: soumu@aizumi.i-tokushima.jp
申請等の掲載URL	https://www.town.aizumi.lg.jp/docs/2025062600010/

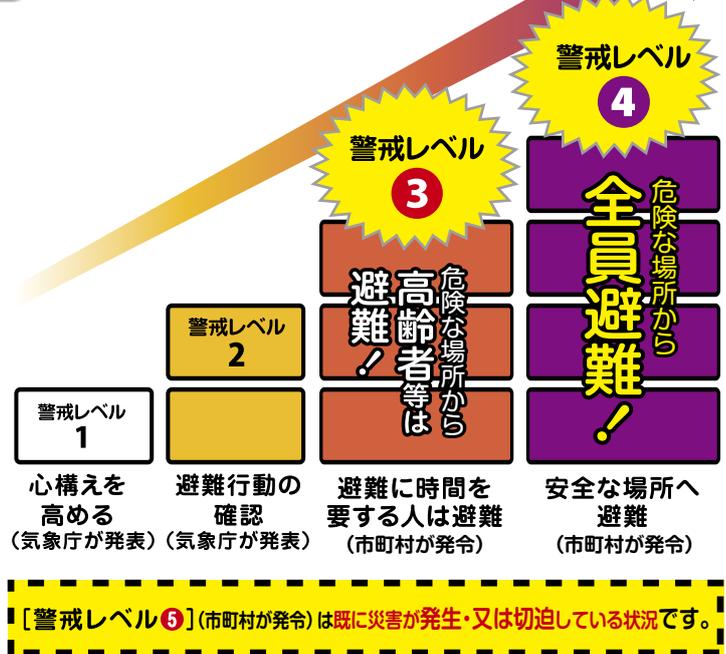
「防災気象情報」と「警戒レベル」

防災気象情報は、住民の皆さんが避難のタイミングを主体的に判断するための「状況情報」であり、警戒レベルとは、災害発生の危険度と、とるべき避難行動を直感的に理解するための情報です。災害時は、町からの避難情報だけでなく、自ら情報を収集し、主体的に避難行動をとる意識が重要です。

また、「避難＝避難所」ではなく、安全な親戚宅や宿泊施設への避難も選択肢の一つです。“自分の命は自分で守る”ために、日頃から避難先や行動を考えておくことが大切です。

この出水期、ご家庭でも防災について話し合ってみませんか？

災害発生の危険度



あかちゃん×防災 Vol.2

監修：ピジョン株式会社

～粉ミルクと液体ミルク、災害時におけるそれぞれの強みと備え～

▶ あかちゃんの“安心”を守る備え、できていますか？

突然の災害。停電や断水で調乳ができない—— そのような非常時でも、あかちゃんに「いつもどおりの授乳」を届けられる備えが大切です。



▶ ミルクの種類と特性を知ろう

特徴	粉ミルク	液体ミルク
賞味期限	製造日から2年(商品による) ※開封後1か月以内に使用	製造日から9か月～18か月(商品による) ※開封後はすぐ(2時間以内)に使用
災害時の使用方法	調乳用の水(清潔な水)、容器、熱源が必要	開封後すぐに哺乳びんや授乳カップなどに移し替えて授乳
備蓄時の強み	軽量・省スペースで備蓄しやすい	常温で保存可能

▶ 備えのコツ

- ・粉ミルクにはミルク用軟水、液体ミルクには使い捨てカイロ(人肌に温めたいときに利用)を準備しておく
- ・使い捨て授乳カップ、除菌グッズも一緒に準備
- ・賞味期限チェック&入れ替え(ローリングストック)を習慣に！



あかちゃんにとって、できるだけ普段通りの授乳を続けることが一番です。非常時は環境変化やストレスで一時的に母乳が出にくくなったと感じることもあるので、万一来ててミルクや調乳・授乳用品などを備蓄しておく